



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月5日

上場会社名 不二サッシ株式会社

上場取引所

東

コード番号 5940 URL <https://www.fujisash.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江崎 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長

(氏名) 西川 利一

TEL 03-6867-0777

半期報告書提出予定日 2025年11月5日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	48,273	1.3	362	—	415	654.3	439	—
2025年3月期中間期	47,648	3.2	△87	—	55	—	△110	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 626百万円 (—%) 2025年3月期中間期 △76百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	34.84	—
2025年3月期中間期	△8.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	85,858	23,850	27.5
2025年3月期	84,286	23,591	27.7

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 23,622百万円 2025年3月期 23,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	2.1	2,500	1.0	2,750	0.3	2,150	△3.4	170.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ― 社（社名）、除外 ― 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	12,626,782 株	2025年3月期	12,626,782 株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	81,738 株	2025年3月期	15,124 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	12,604,625 株	2025年3月期中間期	12,618,535 株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、建設資材価格の高止まり、労働人口の減少に伴う人手不足など事業環境の厳しさは増しておりますが、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、ビル新築事業、リニューアル事業がともに堅調に推移しております。また、環境事業分野においても、プラント工事を中心に堅調に推移しております。一方、形材外販事業分野では、建設分野の物量を中心に減少傾向が続いております。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高482億7千3百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益3億6千2百万円（前年同期は営業損失8千7百万円）、経常利益4億1千5百万円（前年同期は経常利益5千5百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益4億3千9百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失1億1千万円）となり、中間連結会計期間として黒字化を達成いたしました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

〔建材事業〕

建材事業においては、高付加価値活動、コスト管理の徹底によりビル新築事業、リニューアル事業ともに堅調に推移したことに加え、価格改定が浸透したことなどにより、売上高は341億1千4百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は10億5千4百万円（前年同期はセグメント利益5億1千5百万円）と増収増益となりました。

〔形材外販事業〕

形材外販事業においては、一般形材の物量減少による影響を大きく受けました。また、加工品についても、高収益製品の出荷減少の影響を受け、売上高は107億9千4百万円（前年同期比3.8%減）、セグメント損失7百万円（前年同期はセグメント利益7千万円）と減収減益になりました。

〔環境事業〕

環境事業においては、プラント事業部門における基幹改良工事を中心に新規プラント工事が好調に推移したことに加え、薬剤販売部門も物価高の影響は受けているものの堅調に推移したことから、売上高は15億9百万円（前年同期比44.5%増）、セグメント利益は5千8百万円（前年同期はセグメント損失2千8百万円）と増収増益になりました。

〔物流事業〕

物流事業においては、大型設備の輸出入や営業倉庫の業績が寄与したことなどにより売上高は16億9千5百万円（前年同四半期比13.7%増）と増収、利益面では配車効率化などコスト低減への取り組みなどによりセグメント利益2億2千7百万円（前年同期はセグメント利益2億9百万円）と増益になりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は484億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億7千3百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が41億7千8百万円、仕掛品が2億9千4百万円、原材料及び貯蔵品が12億9千1百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が57億5百万円減少したことによるものであります。固定資産は374億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億9千8百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が6億3千2百万円、無形固定資産が1億9千6百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は858億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億7千2百万円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は352億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9千万円減少いたしました。これは主に短期借入金が14億3千万円増加し、支払手形及び買掛金が10億2千3百万円、電子記録債務が11億5千6百万円減少したことによるものであります。固定負債は267億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億3百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が22億1千7百万円増加し、リース債務が1億5千7百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は620億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億1千2百万円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は238億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千9百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が1億9千9百万円、利益剰余金が1億2千3百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は27.5%（前連結会計年度末は27.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることなどから、2025年5月14日の「2025年3月期決算短信」で公表しました予想数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,373	17,552
受取手形、売掛金及び契約資産	20,022	14,316
電子記録債権	5,341	5,419
商品及び製品	1,956	2,115
仕掛品	2,136	2,430
原材料及び貯蔵品	4,311	5,603
販売用不動産	348	351
その他	1,390	1,697
貸倒引当金	△1,042	△1,073
流動資産合計	47,839	48,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,252	41,071
減価償却累計額及び減損損失累計額	△32,270	△32,532
建物及び構築物（純額）	7,982	8,538
機械装置及び運搬具	39,305	39,364
減価償却累計額及び減損損失累計額	△36,126	△36,262
機械装置及び運搬具（純額）	3,179	3,102
土地	13,552	13,384
リース資産	3,106	3,123
減価償却累計額	△1,808	△1,968
リース資産（純額）	1,298	1,155
建設仮勘定	455	918
その他	11,598	11,645
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,629	△10,674
その他（純額）	969	970
有形固定資産合計	27,438	28,070
無形固定資産		
のれん	49	26
その他	603	822
無形固定資産合計	653	849
投資その他の資産		
投資有価証券	3,799	4,117
長期貸付金	46	45
繰延税金資産	2,961	2,865
その他	2,429	2,409
貸倒引当金	△882	△912
投資その他の資産合計	8,355	8,525
固定資産合計	36,446	37,445
資産合計	84,286	85,858

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,044	8,020
電子記録債務	6,139	4,982
短期借入金	13,268	14,698
1年内償還予定の社債	160	160
リース債務	382	374
未払法人税等	339	108
契約負債	2,633	4,057
工事損失引当金	479	326
賞与引当金	20	19
その他	3,519	2,547
流動負債合計	35,986	35,295
固定負債		
社債	3,910	3,830
長期借入金	5,606	7,824
リース債務	1,081	924
繰延税金負債	65	67
再評価に係る繰延税金負債	409	422
退職給付に係る負債	13,211	13,221
資産除去債務	103	103
その他	320	319
固定負債合計	24,707	26,711
負債合計	60,694	62,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,709	1,709
資本剰余金	816	816
利益剰余金	17,422	17,546
自己株式	△14	△65
株主資本合計	19,933	20,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,539	1,738
繰延ヘッジ損益	2	8
土地再評価差額金	1,635	1,622
為替換算調整勘定	△531	△528
退職給付に係る調整累計額	790	774
その他の包括利益累計額合計	3,436	3,615
非支配株主持分	221	228
純資産合計	23,591	23,850
負債純資産合計	84,286	85,858

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日）
売上高	47,648	48,273
売上原価	40,997	41,195
売上総利益	6,650	7,077
販売費及び一般管理費	6,738	6,715
営業利益又は営業損失（△）	△87	362
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	121	120
受取賃貸料	44	44
持分法による投資利益	22	2
電力販売収益	84	85
為替差益	85	24
その他	81	67
営業外収益合計	449	354
営業外費用		
支払利息	139	169
電力販売費用	70	55
その他	97	74
営業外費用合計	307	300
経常利益	55	415
特別利益		
固定資産売却益	1	92
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	8	92
特別損失		
固定資産除却損	2	0
固定資産解体費用	72	2
会員権売却損	—	1
災害による損失	—	3
特別損失合計	74	8
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△10	500
法人税等	96	59
中間純利益又は中間純損失（△）	△106	440
非支配株主に帰属する中間純利益	3	1
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△110	439

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△106	440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	199
繰延ヘッジ損益	△55	6
土地再評価差額金	—	△13
為替換算調整勘定	△24	△5
退職給付に係る調整額	56	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	14
その他の包括利益合計	30	185
中間包括利益	△76	626
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△95	618
非支配株主に係る中間包括利益	18	7

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日）	当中間連結会計期間 （自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△10	500
減価償却費	1,076	1,110
固定資産解体費用	72	2
持分法による投資損益（△は益）	△22	△2
受取利息及び受取配当金	△131	△129
支払利息	139	169
固定資産売却損益（△は益）	△1	△92
固定資産除却損	2	0
投資有価証券売却損益（△は益）	△7	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	93	34
工事損失引当金の増減額（△は減少）	66	△153
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△170	△1
売上債権の増減額（△は増加）	4,039	5,680
棚卸資産の増減額（△は増加）	△907	△1,726
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,466	△2,186
契約負債の増減額（△は減少）	827	1,423
その他の資産の増減額（△は増加）	△50	△284
その他の負債の増減額（△は減少）	△1,357	△921
その他	△75	△40
小計	△2,883	3,383
利息及び配当金の受取額	131	129
利息の支払額	△142	△182
法人税等の支払額	△310	△268
その他	0	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,204	3,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18	△32
定期預金の払戻による収入	34	14
有形固定資産の取得による支出	△1,135	△2,034
有形固定資産の売却による収入	1	267
有形固定資産の解体による支出	△72	△2
無形固定資産の取得による支出	△138	△210
投資有価証券の取得による支出	△10	△8
投資有価証券の売却による収入	13	0
その他	336	126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△989	△1,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△64	1,296
長期借入れによる収入	4,181	4,200
長期借入金の返済による支出	△1,911	△1,899
社債の償還による支出	△80	△80
その他	△464	△545
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,659	2,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,540	4,153
現金及び現金同等物の期首残高	15,625	12,091
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,084	16,244

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

1 受取手形割引高、受取手形裏書譲渡高、電子記録債権割引高及び電子記録裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
受取手形割引高	50百万円	38百万円
受取手形裏書譲渡高	1	7
電子記録債権割引高	961	782
電子記録裏書譲渡高	—	21

※2 手形債権流動化

手形債権の一部を譲渡し債権の流動化を行っております。

なお、受取手形の流動化に伴い信用補完目的の留保金額を流動資産「その他」に含めて表示しております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
受取手形の流動化による譲渡高	430百万円	—百万円
信用補完目的の留保金額	72	—

※3 国庫補助金等の受領により、固定資産の取得価額から控除した圧縮記帳累計額

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
建物及び構築物	148百万円	148百万円
機械装置及び運搬具	675	675
その他	94	80
計	919	904

4 保証債務

前連結会計年度（2025年3月31日）及び当中間連結会計期間（2025年9月30日）

連結子会社である不二ライトメタル㈱は、医療機器開発において包括的連携協定を締結している株式会社日本医療機器技研が国立研究開発法人日本医療研究開発機構と締結した委託研究開発契約に基づく債務に対し連帯保証を行っております。

(1) 内容

株式会社日本医療機器技研が国立研究開発法人日本医療研究開発機構に対して現在及び将来負担する一切の債務につき、連帯して保証するものであります。

(2) 委託費限度額

1,350百万円

株式会社日本医療機器技研が負担する委託費の割合

委託研究開発の目標達成が確認された場合 全額

委託研究開発の目標未達が確認された場合 10%負担（135百万円）

（中間連結損益計算書に関する注記）

- 1 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）及び当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

当社グループは、建材事業、特にビルサッシの売上比率が高く、このビルサッシの売上は、通常の営業形態として、下半期に完成する工事の割合が大きいため、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

※2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
給料手当	2,474百万円	2,435百万円
貸倒引当金繰入額	96	41
退職給付費用	194	181

※3 固定資産解体費用

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

旧事務所棟施設解体に伴う費用であります。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

旧事務所棟施設解体に伴う費用であります。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	14,394百万円	17,552百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△1,309	△1,307
現金及び現金同等物	13,084	16,244

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	物流	計		
売上高							
カーテンウォール、サッシ、 ドア、室内建具、エクステリ ア製品等	33,738	—	—	—	33,738	—	33,738
アルミ形材、アルミ精密加工 品等	—	11,220	—	—	11,220	—	11,220
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理 設備プラントとそれに伴う薬 剤販売、都市ゴミリサイクル 施設の設計・製作・工事	—	—	1,045	—	1,045	—	1,045
建材、プラント等の輸送等	—	—	—	1,490	1,490	—	1,490
その他	—	—	—	—	—	17	17
顧客との契約から生じる収益	33,738	11,220	1,045	1,490	47,495	17	47,513
その他の収益	—	—	—	—	—	134	134
外部顧客に対する売上高	33,738	11,220	1,045	1,490	47,495	152	47,648
セグメント間の内部売上高又 は振替高	585	3,465	—	1,204	5,255	—	5,255
計	34,324	14,686	1,045	2,694	52,750	152	52,903
セグメント利益又は損失（△）	515	70	△28	209	767	97	865

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	767
「その他」の区分の利益	97
セグメント間取引消去	126
全社費用（注）	△1,079
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△87

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建材	形材外販	環境	物流	計		
売上高							
カーテンウォール、サッシ、 ドア、室内建具、エクステリ ア製品等	34,114	—	—	—	34,114	—	34,114
アルミ形材、アルミ精密加工 品等	—	10,794	—	—	10,794	—	10,794
都市ゴミ焼却施設の飛灰処理 設備プラントとそれに伴う薬 剤販売、都市ゴミリサイクル 施設の設計・製作・工事	—	—	1,509	—	1,509	—	1,509
建材、プラント等の輸送等	—	—	—	1,695	1,695	—	1,695
その他	—	—	—	—	—	25	25
顧客との契約から生じる収益	34,114	10,794	1,509	1,695	48,113	25	48,139
その他の収益	—	—	—	—	—	133	133
外部顧客に対する売上高	34,114	10,794	1,509	1,695	48,113	159	48,273
セグメント間の内部売上高又 は振替高	567	3,404	—	1,309	5,280	—	5,280
計	34,681	14,198	1,509	3,004	53,394	159	53,554
セグメント利益又は損失（△）	1,054	△7	58	227	1,332	89	1,422

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「不動産」等を含んでおります。

2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,332
「その他」の区分の利益	89
セグメント間取引消去	135
全社費用（注）	△1,195
中間連結損益計算書の営業利益	362

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

該当事項はありません。